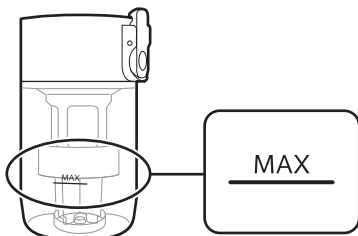


ゴミを捨てる・お手入れする

ゴミを捨てる

■ゴミ満量ライン「MAX」を超える前に捨ててください

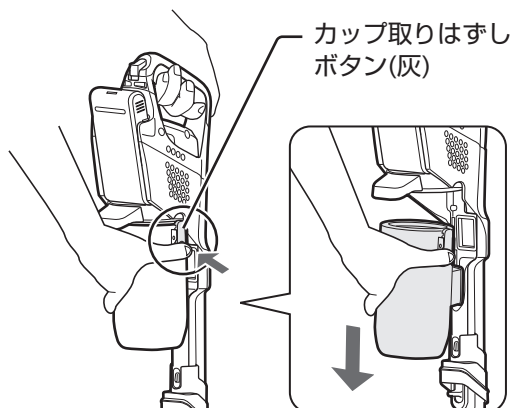
ダストカップセット



- ゴミが片寄ってたまっている場合もラインを超える前に捨ててください。
- ゴミを捨てずに運転を続けると、フィルターにゴミが付着して吸込力が低下します。こまめにゴミを捨ててください。

① ダストカップセットを本体からはずす

本体を立てた状態で
カップ取りはずしボタン(灰)を押しながら
矢印方向にはずす

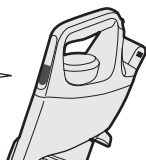


- ダストカップセットをはずした本体側にクリーニングブラシが付いています。使用後は元の位置に付けてください。

お手入れする (ダストカップセット)

こんなときは、ダストカップセットを
お手入れしてください。

■ゴミを捨てても吸込力が弱いとき ■フィルターお手入れランプ(赤)が 速く点滅したとき

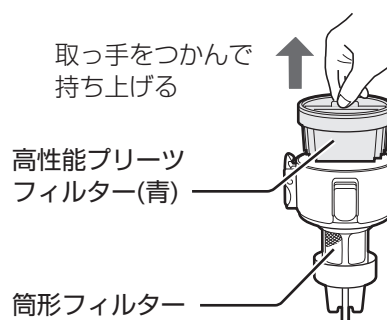


■本体が熱くなるとき ■細かい粉類を吸わせたとき

- お手入れせずに運転を続けると自動停止します。必ずお手入れしてください。
- フィルターを充分にお手入れしてもランプがひんぱんに点滅する場合は、別売の高性能ブリーツフィルターをお買い求めいただき、取り換えてください。

① はずす

- ① ダストカップセットを本体からはずし、
ゴミを捨てる(上記)
- ② 高性能ブリーツフィルターをはずす



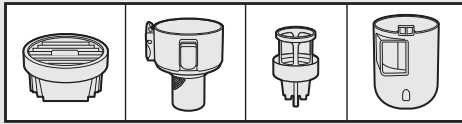
お願い

- ゴミ捨てやお手入れ時に、筒形フィルター(下)を紛失しないよう、ご注意ください。
- ゴミ捨てやお手入れ後は、ダストカップセットを本体にしっかり取り付けてください。確実に取り付けないと、吸込力の低下や異音がしたり、モーターにゴミが入るなど、故障の原因になります。

水洗いした後は充分に乾かしてください

- 水気をしっかり切り、タオルなどで水分をやさしく拭き取って、風通しのよい所で陰干しして、充分に乾かしてください。【においの発生や故障の原因】
乾燥時間目安：12時間(環境や季節によって異なります)
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。【変形や故障の原因】

水洗いできるもの



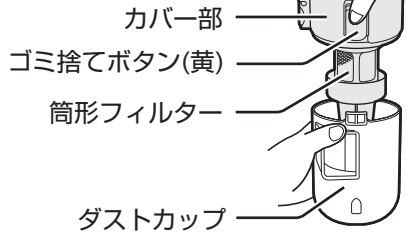
警告



お手入れ時は必ず運転を停止し、
本体からバッテリーをはずす
充電器は電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

2 ゴミを捨て、ゴミやほこりを取り除く

- ① ゴミ捨てボタン(黄)を押しながら
カバー部を持ち上げる



- ② ゴミを捨てる

- ゴミが残っていないか確認する。

大きなゴミ箱など

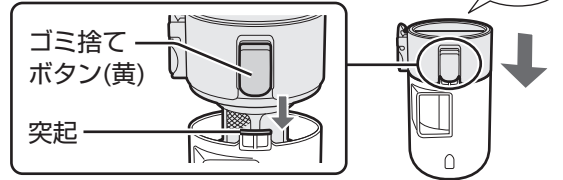
ゴミが巻き付いて取れない場合は
お手入れしてください。(下記)

クリーニングブラシ

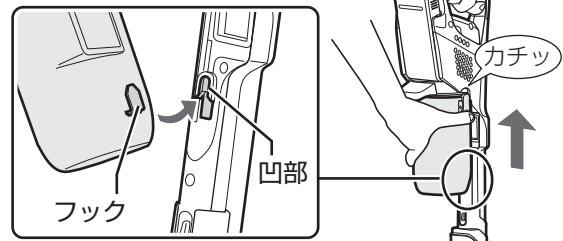
新聞紙など

3 ダストカップを付け、ダストカップセットを本体に取り付ける

- ① ダストカップの突起とゴミ捨てボタン(黄)を合わせて、押し込む。



- ② ダストカップのフックを本体の凹部に合わせてはめ込み、
矢印方向に引き上げる



2 お手入れする

高性能プリーツフィルター

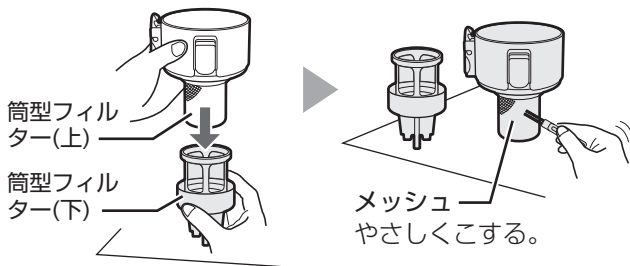
図の向きではたいて、ゴミを落とす。

- クリーニングブラシは使わないでください。
表面を傷め、性能低下のおそれがあります。

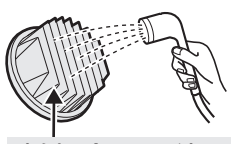


筒型フィルター(上・下)

筒型フィルター(下)をはずすと、
巻き付いたゴミが取れます。



汚れがひどいときは水洗いできます

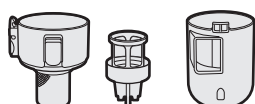


裏側を念入りに洗う。

- においや汚れが気になる場合は、
衣類用漂白剤10mLに対し、
水1Lで薄めた液に
約3時間つけた後、
水洗いする。

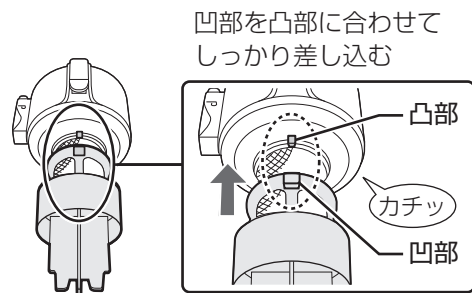
水または薄めた中性洗剤で洗う。

- シンナー・ベンジン類や、
お湯(約40℃以上)は使わない。

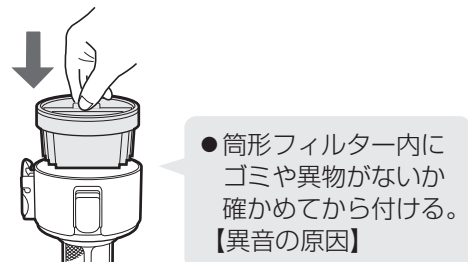


3 組み立てる

- ① 筒型フィルター(上)に
筒型フィルター(下)を付ける



- ② 高性能プリーツフィルターを付ける



- 筒型フィルター内に
ゴミや異物がないか
確かめてから付ける。
【異音の原因】

- ③ ダストカップを付け、ダストカップ
セットを本体に取り付ける(上記)